
2024年3月期 第3四半期

クリモトグループ^o決算説明資料

The logo for Kurimoto, featuring the word "KURIMOTO" in a bold, blue, sans-serif font. The letter "K" is stylized with a red horizontal bar extending from its left side.

目次

1. 2024年3月期 第3四半期実績

2. 2024年3月期 業績予想

3. トピックス

4. 株主還元

参考資料

1. 2024年3月期 第3四半期実績

1 - 1 決算概要

<連結>

(単位：百万円)

	2023.3 3Q 実績		2024.3 3Q 実績		前年比	2024.3 直近予想値※	
	(A)		(B)		(B-A)	(C)	
売上高	91,481	-	95,268	-	3,787	124,000	-
営業利益(率)	5,503	(6.0%)	6,900	(7.2%)	1,397	7,500	(6.0%)
経常利益(率)	5,531	(6.0%)	7,030	(7.4%)	1,498	7,500	(6.0%)
四半期純利益(率)	3,827	(4.2%)	4,988	(5.2%)	1,161	5,100	(4.1%)

※直近予想値 (C) : 2024年2月8日公表

売上高

官需分野の需要の底堅さに加え、民需分野では投資需要が回復した前年度実績には到達しなかったものの大型物件の順調な出荷が貢献し、前年同期比 3,787百万円の増収。

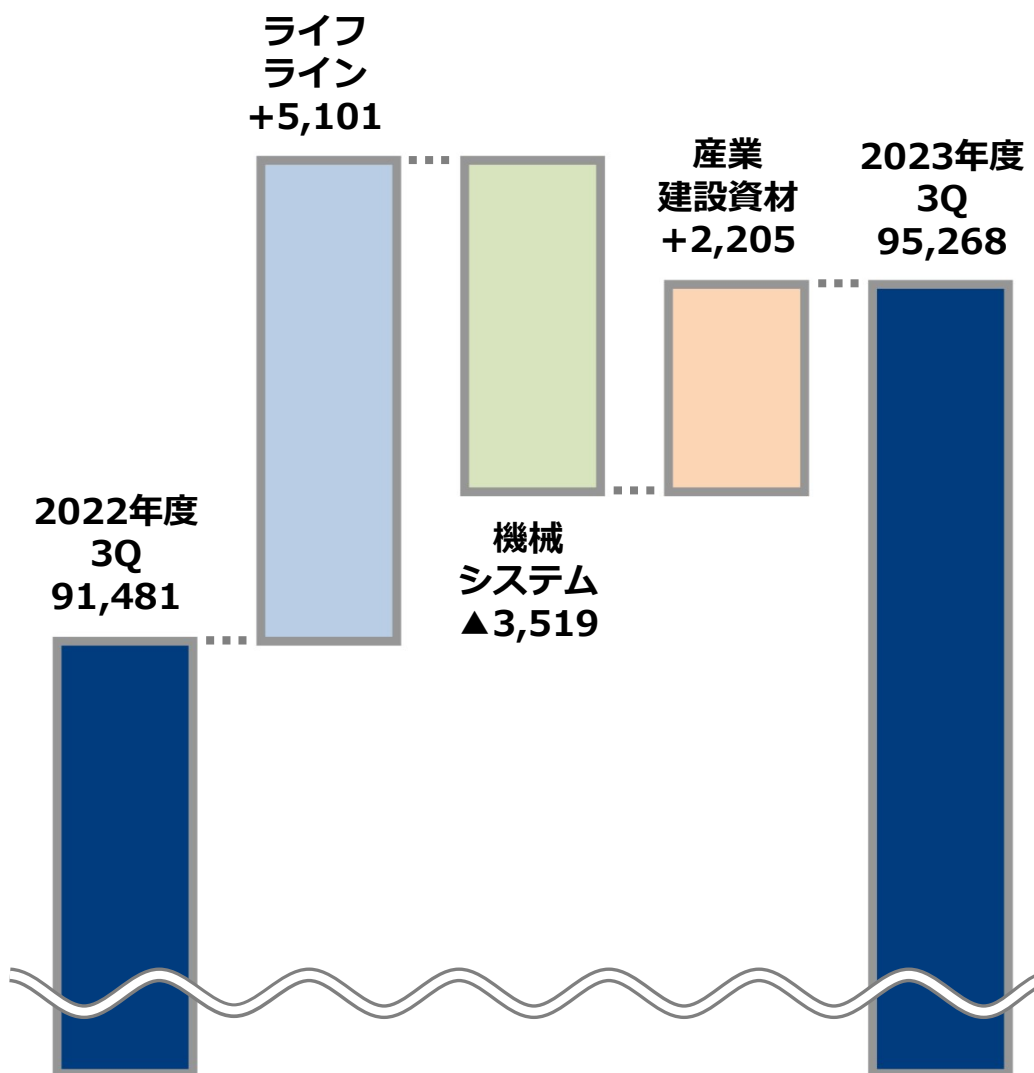
営業利益

売上高の増加や売上構成の変化に加え、原価低減活動の効果などにより、前年同期比 1,397百万円の増益。

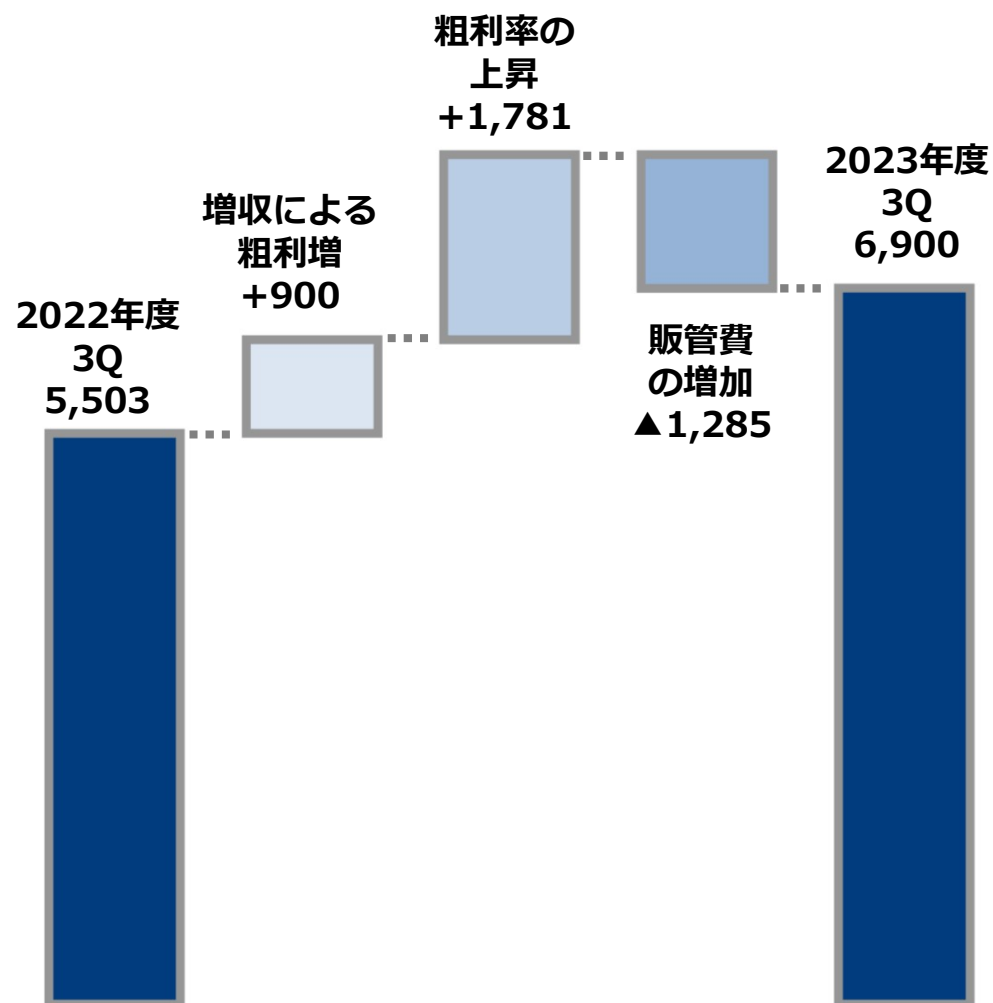
1 - 2 売上高・営業損益比較

(単位：百万円)

売上高



営業利益



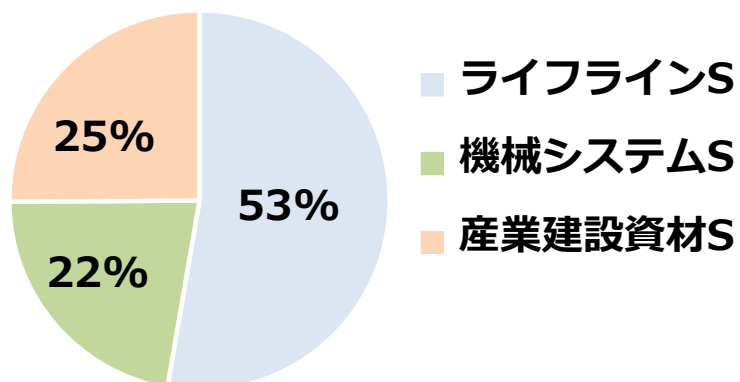
1 - 3 セグメント別業績

(単位：百万円)

		2023.3 3Q 実績 (A)	2024.3 3Q 実績 (B)	前年比 (B-A)
ライフライン セグメント	売上高	45,111	50,212	5,101
	営業利益	2,777	4,210	1,433
	(率)	(6.2%)	(8.4%)	(2.2pts)
機械システム セグメント	売上高	24,648	21,128	▲3,519
	営業利益	1,739	1,406	▲332
	(率)	(7.1%)	(6.7%)	(▲0.4pts)
産業建設資材 セグメント	売上高	21,721	23,927	2,205
	営業利益	1,056	1,775	718
	(率)	(4.9%)	(7.4%)	(2.5pts)

※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

セグメント別売上高構成比率



※2024.3 3Q 実績 (連結)

1 - 4 事業セグメント別概況

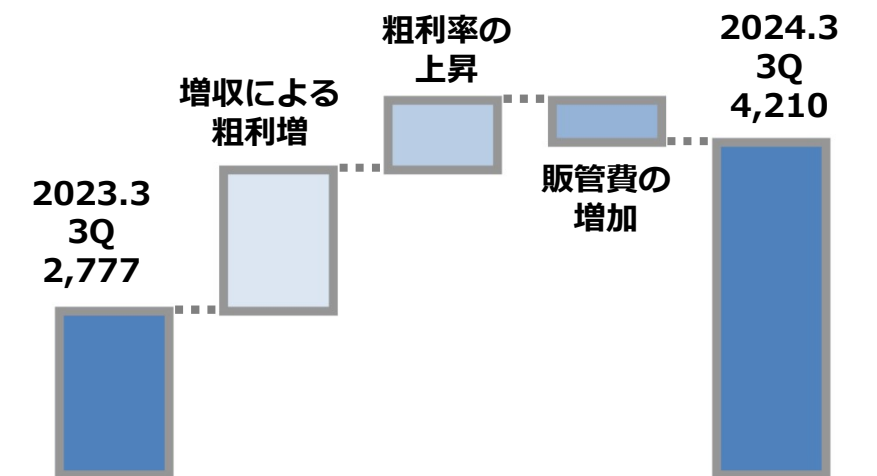
ライフラインセグメント

(単位：百万円)

	2023.3 3Q 実績 (A)	2024.3 3Q 実績 (B)	前年比 (B-A)	2024.3 直近予想値※ (C)
売上高	45,111	50,212	5,101	64,200
営業利益	2,777	4,210	1,433	4,900
(率)	(6.2%)	(8.4%)	(2.2pts)	(7.6%)

※2024年2月8日現在の予想数値

営業利益増減内訳 (連結)



事業セグメント別売上高・営業利益

売上高

パイプシステム部門において売上が堅調に推移し、バルブ部門において大型案件の売上高が増加したことなどにより、前年同期比5,101百万円の増収

営業利益

増収に加え、原価改善も進んだ影響などにより、前年同期比1,433百万円の増益

1 - 4 事業セグメント別概況

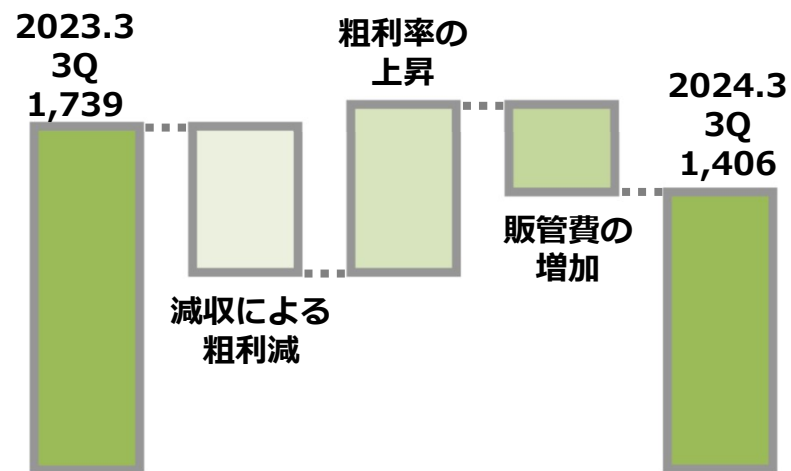
機械システムセグメント

(単位：百万円)

	2023.3 3Q 実績 (A)	2024.3 3Q 実績 (B)	前年比 (B-A)	2024.3 直近予想値※ (C)
売上高	24,648	21,128	▲ 3,519	29,800
営業利益	1,739	1,406	▲ 332	1,700
(率)	(7.1%)	(6.7%)	(▲0.4pts)	(5.7%)

※2024年2月8日現在の予想数値

営業利益増減内訳 (連結)



事業セグメント別売上高・営業利益

売上高

素形材部門において破碎機および部品の売上高が増加し、機械部門において前年同期に売上高が集中した反動でプレス機器、プラント案件等の売上高が減少したことなどにより、前年同期比3,519百万円の減収

営業利益

機械部門が減収となった影響などにより、前年同期比332百万円の減益

1 - 4 事業セグメント別概況

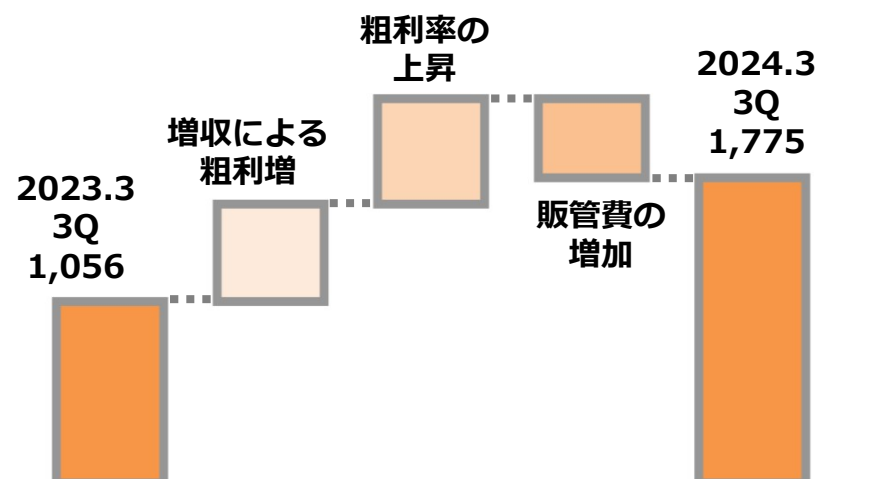
産業建設資材セグメント

(単位：百万円)

	2023.3 3Q 実績 (A)	2024.3 3Q 実績 (B)	前年比 (B-A)	2024.3 直近予想値※ (C)
売上高	21,721	23,927	2,205	30,000
営業利益	1,056	1,775	718	1,900
(率)	(4.9%)	(7.4%)	(2.5pts)	(6.3%)

※2024年2月8日現在の予想数値

営業利益増減内訳 (連結)



事業セグメント別売上高・営業利益

売上高

建材部門において工場案件向けの空調製品の売上高が増加し、化成品部門において電力向けの製品の売上高が増加したことなどにより、前年度比2,205百万円の増収

営業利益

増収に加え、高付加価値製品の売上比率が増加したことなどにより、前年度比718百万円の増益

2. 2024年3月期 業績予想

2 - 1 2024年3月期 業績予想

(単位：百万円)

連結	2023.3 実績 (A)		2024.3 前回予想値 (B) ※ 1		2024.3 直近予想値 (C) ※ 2		前年比 (C-A)	
売上高	124,827	-	120,000	-	124,000	-	▲ 827	-
営業利益(率)	6,840	(5.5%)	6,000	(5.0%)	7,500	(6.0%)	660	(0.5pts)
経常利益(率)	6,868	(5.5%)	6,000	(5.0%)	7,500	(6.0%)	632	(0.5pts)
当期純利益(率)	4,727	(3.8%)	4,000	(3.3%)	5,100	(4.1%)	373	(0.3pts)
自己資本利益(率)	-	(6.9%)	-	(5.5%)	-	(6.8%)	-	(▲0.1pts)

※ 1 2023年11月2日時点の予想数値

※ 2 2024年2月8日現在の予想数値

官需分野の需要の底堅さにより、ライフライン事業にて売上高が増加し、売上高は前回発表の予想を上回る見込み。

売上高の増加や売上構成の変化に加え、原価低減活動の効果などにより、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回発表の予想を上回り、さらに、売上高・各利益項目ともに好調であった前年度実績と比較しても増益の見込み。

2-2 2024年3月期 業績予想 (セグメント別)

(単位：百万円)

連結		2023.3 実績 (A)	2024.3 前回予想値 (B) ※1	2024.3 直近予想値 (C) ※2	前年比 (C-A)	2024.3 中計当初計画 (D) ※3	計画修正 (C-D)
ライフライン セグメント	売上高	60,879	60,300	64,200	3,321	55,500	8,700
	営業利益	3,679	3,600	4,900	1,221	2,800	2,100
	(率)	(6.0%)	(6.0%)	(7.6%)	(1.6pts)	(5.0%)	(2.6pts)
機械システム セグメント	売上高	34,102	30,300	29,800	▲ 4,302	29,700	100
	営業利益	2,208	1,400	1,700	▲ 508	1,100	600
	(率)	(6.5%)	(4.6%)	(5.7%)	(▲ 0.8pts)	(3.7%)	(2.0pts)
産業建設資材 セグメント	売上高	29,845	29,400	30,000	155	34,800	▲ 4,800
	営業利益	1,404	1,400	1,900	496	1,600	300
	(率)	(4.7%)	(4.8%)	(6.3%)	(1.6pts)	(4.6%)	(1.7pts)

ライフラインセグメント

官需分野の需要は底堅く、堅調な売上推移と原価改善の効果もあり、増収増益の見込み

機械システムセグメント

原材料コストなどの高騰による市場回復懸念に加え、地政学的リスクなどの影響や2022年度の売上の大幅増加による反動などにより、減収減益の見込み

産業建設資材セグメント

高付加価値製品の売上増などにより、増収増益の見込み

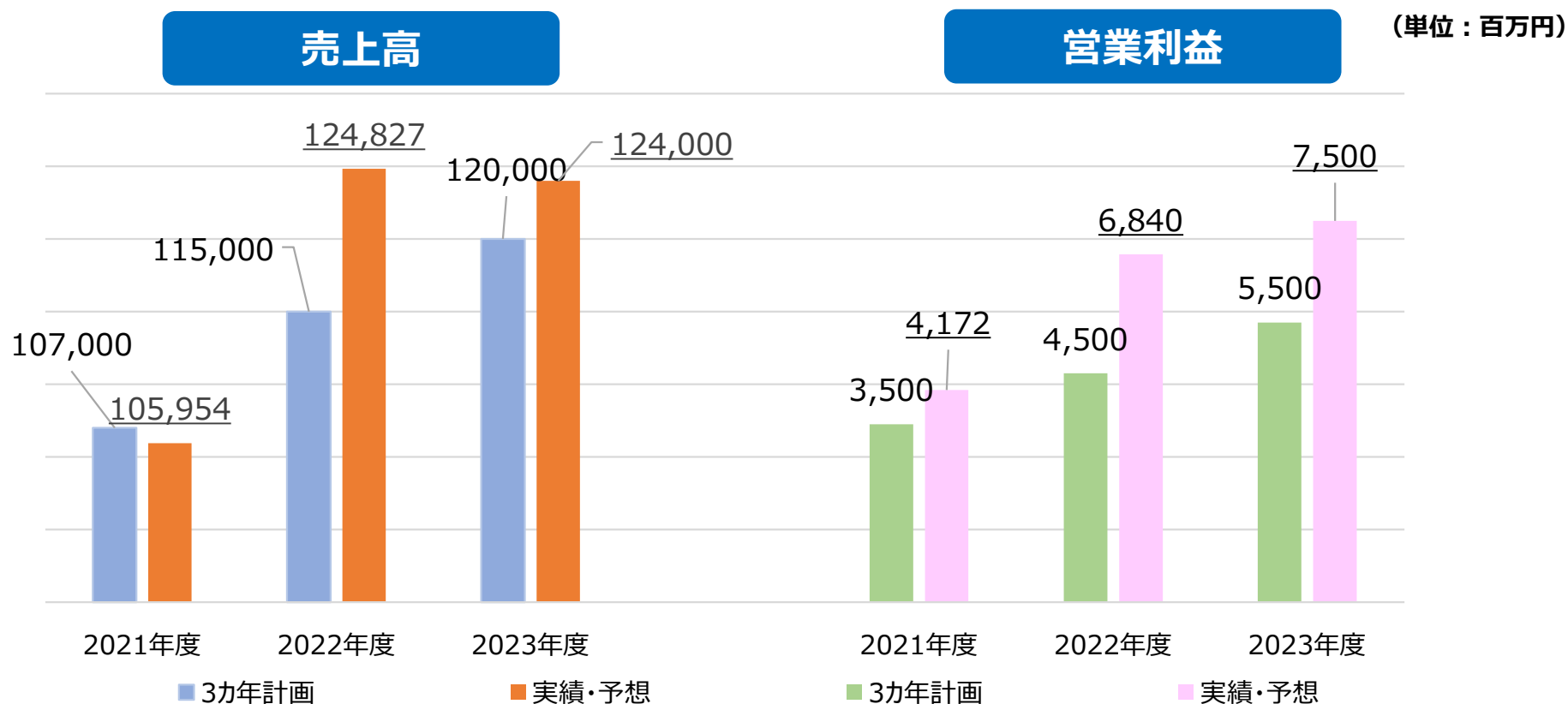
※1 2023年11月2日時点の予想数値

※2 2024年2月8日現在の予想数値

※3 2021年5月27日公表「クリモトグループ中期3カ年経営計画2021~2023」

※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

2-3 中期3カ年経営計画との比較



- 2023年度は「前年度実績比」は減収増益と予想、中期3カ年経営計画の「当初計画値比」は、売上高、営業利益いずれも計画を上回る見込み
- 中期計画は2021年度の売上高実績を除き、すべて目標を達成する見込み
- 中期計画値に対する累計達成率は、売上高が104%、営業利益が137%の見込み

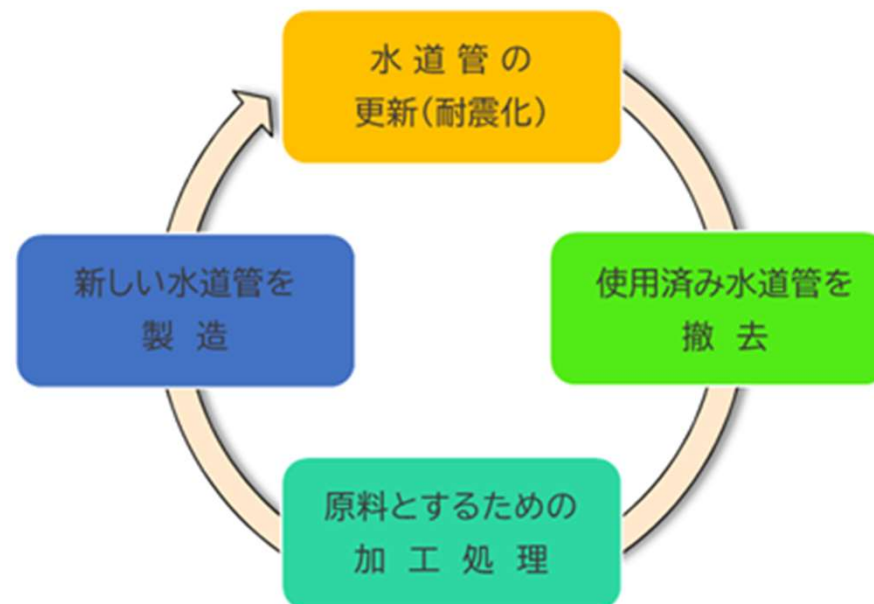
3. トピックス

3-1 トピックス

✓ 鋳鉄製品のリサイクルシステム構築に関する共同研究を開始

震災対策の一環として水道管の更新（耐震化）に伴い撤去する使用済みの水道管を、ダクタイル鉄管の製造に用いる鉄原料として有効利用する共同研究を大阪市水道局と開始

→ 鋳鉄製品の適正なリサイクルシステムを構築することで、環境保全における循環型社会の実現に貢献



使用済み水道管のリサイクルイメージ図



ダクタイル鉄管

3 - 2 トピックス

✓ 感触コンテンツ「SAWARERU」(サワレル®) が「CES® 2024 Innovation Awards」を受賞

当社が独自に開発した磁気粘性流体(SoftMRF®)を応用した感触コンテンツ「SAWARERU(サワレル®)」が、「CES® 2024 Innovation Awards」(Gaming & eSports 部門)を受賞

<特徴>

当社独自の感触収集・編集システムによりデータ化された感触データを「Tapユニット®」に送信し、搭載しているSoftMRF®に与える磁場の強さをコントロールすることで、硬さや柔らかさの感触を人差し指に伝え、今までに無い感触を表現



感触コンテンツ「SAWARERU」



手の動きとキャラクターのリアクションが連動

「SAWARERU」の感触提示システム



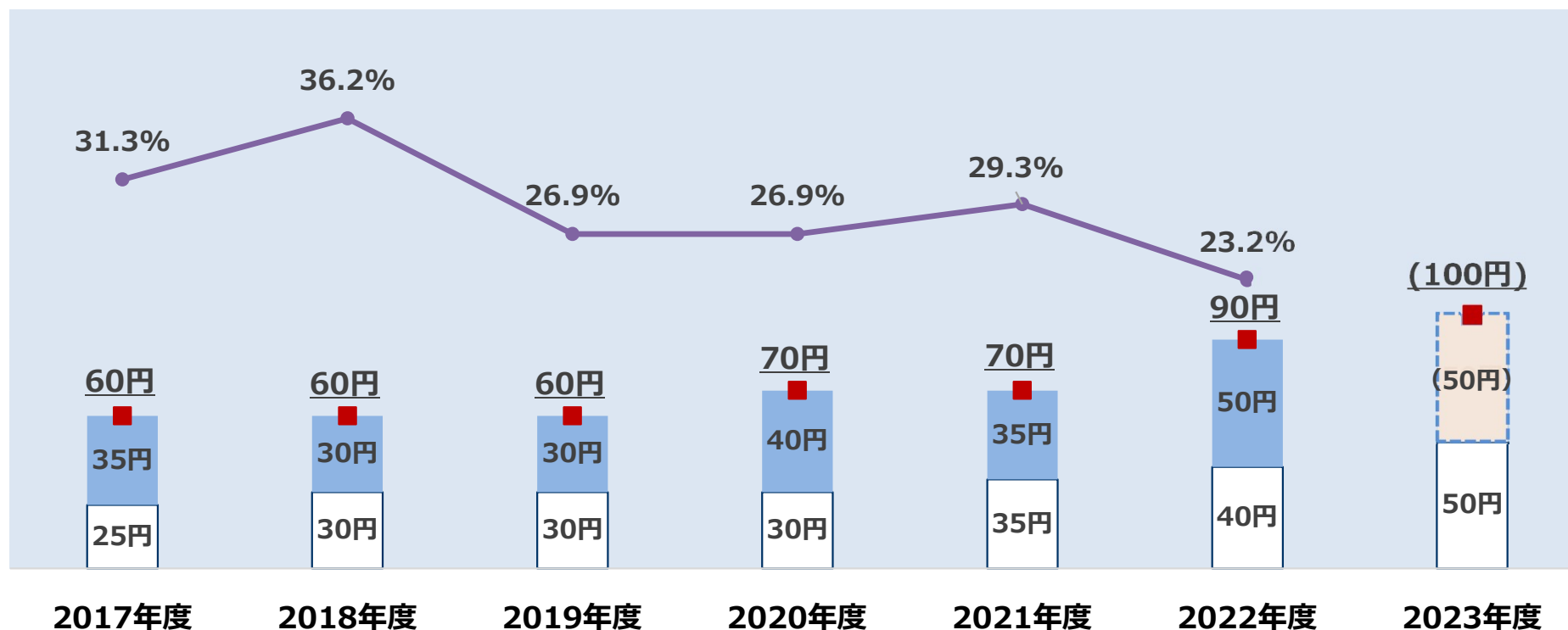
4. 株主還元

4 株主還元に関する指標

成長投資とのバランスを鑑みながらステークホルダーの皆様の期待に応えるべく、配当性向30%超を目指しつつ、安定した株主還元を実施してまいります。
 2023年度の期末配当額につきましては、予想額は修正していませんが、業績動向等を考慮しながら適正な還元額について検討を続けてまいります。

一株あたり配当額・配当性向推移(連結)

■ 期末配当額 (円) □ 中間配当額 (円) ■ 年間配当総額 (円) ● 年間配当性向 (%)



※2024年2月8日現在の予想値

参考資料

参考資料 1 会社概要



創立：
1909年2月2日（明治42年）

設立：
1934年5月10日（昭和9年）

代表者：
代表取締役社長 菊本 一高

資本金：
311億円（2023年3月末現在）

従業員数：
2,107名（2023年3月末現在、連結）
1,327名（2023年3月末現在、単体）

参考資料 1 会社概要

事業所：

○工場・物流拠点（計 13 箇所）

大阪府内 4 箇所

滋賀県、茨城県など

○国内営業拠点（8 箇所）

大阪、東京、札幌、仙台、

名古屋、広島、福岡、沖縄

○海外拠点（2 箇所）

ヨーロッパ事務所（ドイツ）、

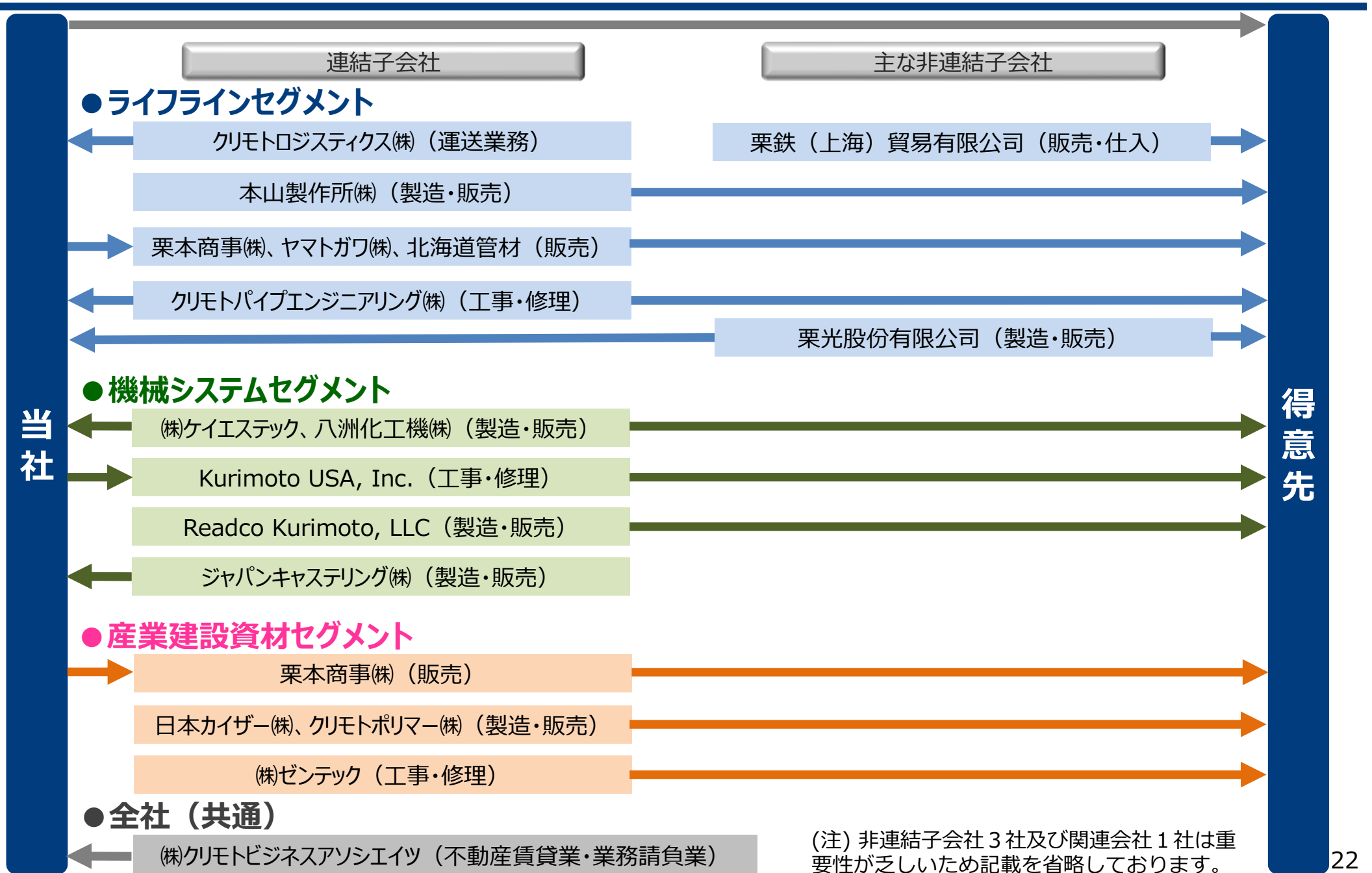
ジャカルタ事務所（インドネシア）



関係会社：

栗本商事(株)、ヤマトガワ(株)、(株)本山製作所、(株)ケイエステック、
 ジャパンキャステリング(株)、Readco Kurimoto、Kurimoto USA<米国>、
 栗鉄（上海）貿易有限公司<中国>など 計21社

参考資料 1 会社概要



(注) 非連結子会社 3 社及び関連会社 1 社は重要性が乏しいため記載を省略しております。

参考資料 1 会社概要

経営理念

私たちは、全てのステークホルダーの期待と信頼に応え、常に最適なシステムを提供し、『夢ある未来』を創造します。

～社会インフラ・産業インフラへの最適なシステムの提供～

経営方針

よんぼう

「四方よし」の精神で、将来にわたって社会へ貢献できる企業グループを目指す。

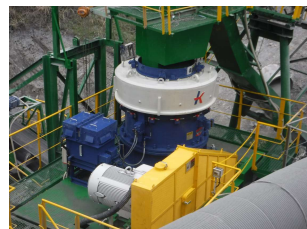
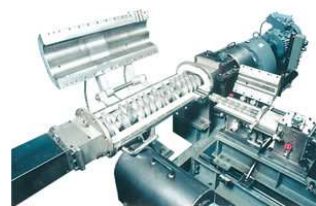
参考資料2 事業ドメイン

社会 インフラ

上下水道、道路、通信、交通など
人・生活において基盤となる施設



メーカーの生産活動に必要な
機械、プラントなどの製造設備



産業設備

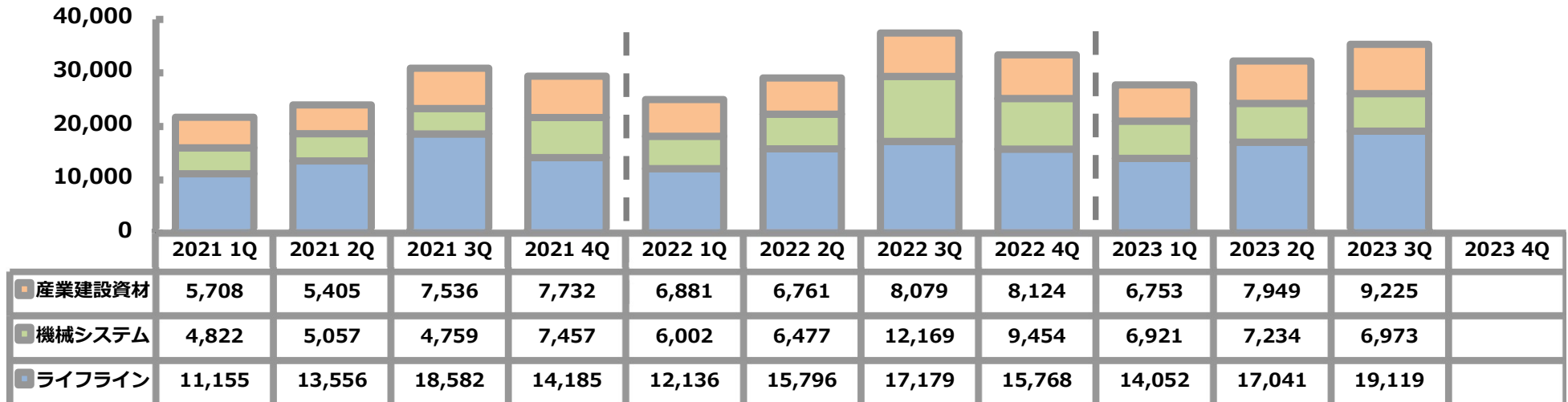
参考資料3 事業部門の構成と主な製品（単体）

事業セグメント	主な事業ドメイン	事業部	主な製品	主な需要先
ライフラインセグメント		パイプシステム	ダクタイル鉄管類	水道事業体
		バルブシステム	水道用バルブ、産業バルブ	水道事業体、製鉄・電力等各種プラント、ポンプメーカー
機械システムセグメント		機械システム	鍛造プレス	自動車関連メーカー
			粉体処理機	カーボン、エンブラ、二次電池関連メーカー 他
			プラントエンジニアリング	プラントエンジニアリング企業
		素形材エンジニアリング	耐磨耗鋳物、破碎機	鉄鋼、セメント、電力、環境、砕石関連企業
産業建設資材セグメント		建材	建築資材	管材商社、空調設備業者、ゼネコン等
		化成品	FRP(M)製品	国・地方公共団体、電力会社、ゼネコン、フィルム関連メーカー

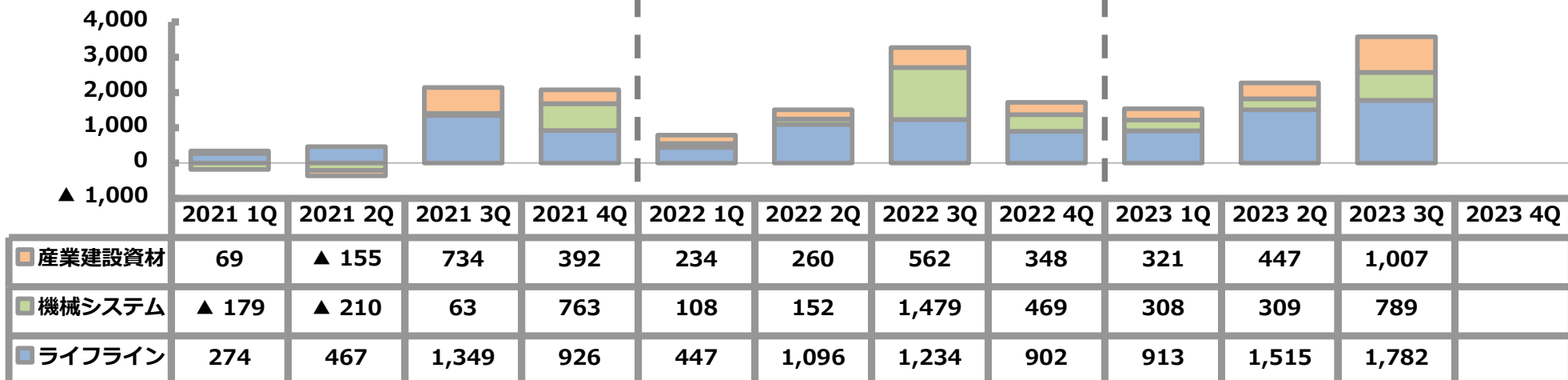
参考資料4 セグメント別四半期業績推移 (連結)

売上高

(単位：百万円)



営業利益

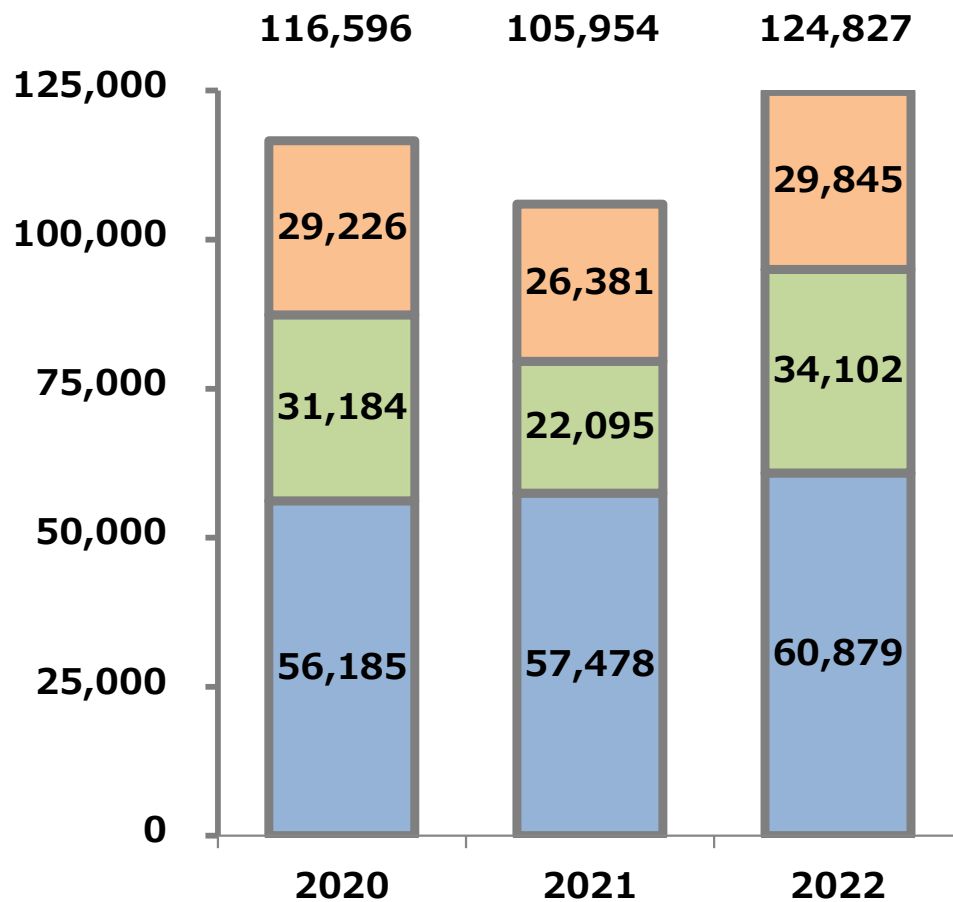


※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

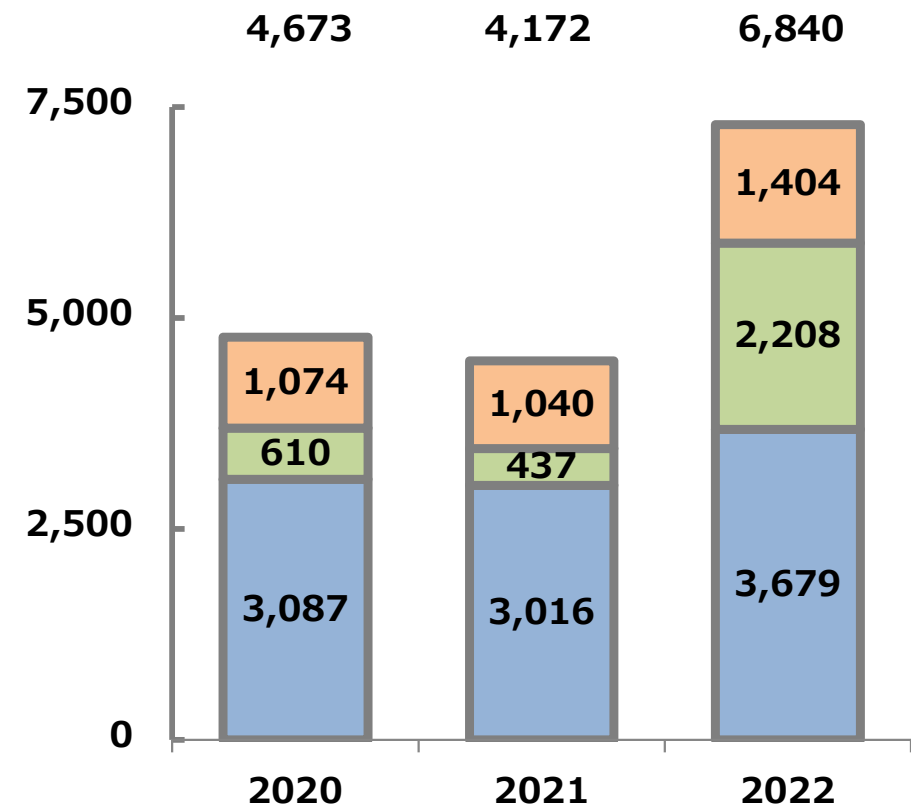
参考資料5 セグメント別業績推移

(単位：百万円)

売上高



営業利益

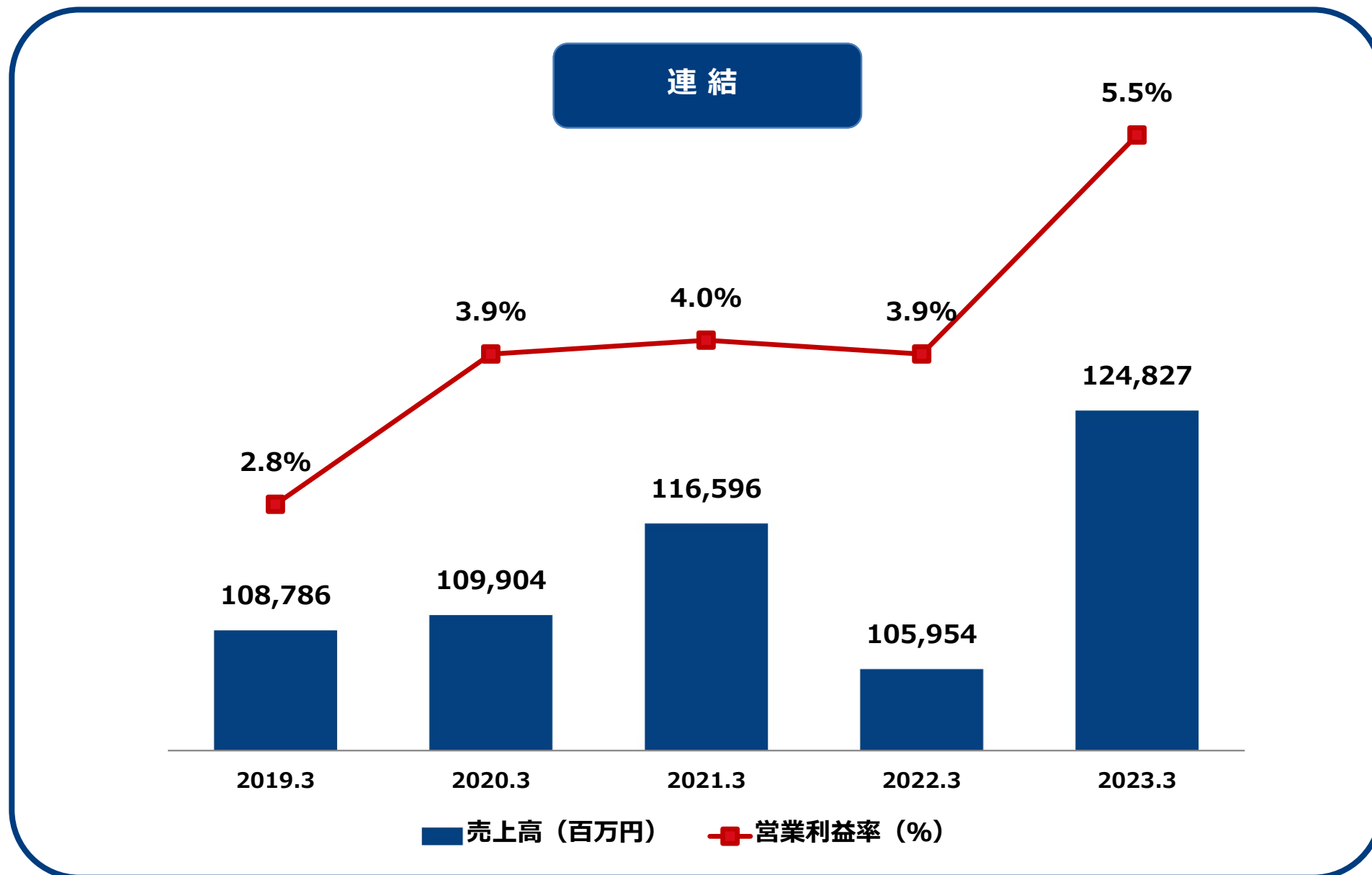


■ ライフライン ■ 機械システム ■ 産業建設資材

■ ライフライン ■ 機械システム ■ 産業建設資材

※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

参考資料6 売上・営業利益率推移（連結）



資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

問い合わせ先
株式会社栗本鐵工所 総合企画室

TEL:06-6538-7719

<https://www.kurimoto.co.jp>

KURIMOTO